

# 案

平成 29 年 1 月 31 日

千葉市長 熊谷俊人様

千葉市新基本計画審議会  
会長 芦沢哲蔵

## 公共事業再評価について（答申）

平成 28 年 10 月 20 日付 28 千政調第 1082 号により諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申します。

### 記

#### 1 審議対象事業

都市計画道路事業 塩田町誉田町線（塩田町）

#### 2 審議経過

千葉市新基本計画審議会公共事業再評価部会（以下「再評価部会」という。）は、平成 29 年 1 月 31 日に開催し、再評価対象事業について、千葉市から再評価の内容とそれに基づく対応方針（案）について説明を受け、慎重に審議を行った。

#### 3 審議結果

審議対象事業について、千葉市の対応方針（案）「継続」に対し、千葉市新基本計画審議会の意見は次のとおりである。

事業（路線）名	所管部局	再評価実施理由	千葉市対応方針（案）
都市計画道路事業 塩田町誉田町線 （塩田町）	建設局道路部	再評価実施後、5 年間が経過した時点で継続中の事業	継続
千葉市新基本計画審議会の意見			
<p>【対応方針（案）に対する意見】</p> <p>継続を了承する。</p> <p>本路線は、既供用部が市東南部方面からの主要な道路として利用されており、将来的にも千葉外房有料道路の無料化により、外房方面からのさらなる交通需要が見込まれている。しかしながら、当該区間が未整備である為、改良が進む国道 357 号へのアクセス機能が十分に発揮されていない状況にある。</p> <p>そのため、当該未整備区間を整備することにより、東南部と臨海部との連絡強化が図られるとともに、地域高規格道路である千葉中環状道路が概成することで、千葉都心部の渋滞緩和が期待でき、費用便益分析の結果から、事業の投資効果が認められる。</p> <p>また、国道 357 号と京葉道路蘇我インターチェンジとを繋げることによるインターアクセス強化により、蘇我副都心の育成強化のほか、千葉港の物流の効率化による生産性の向上が期待される。</p> <p>防災面では、緊急輸送道路である京葉道路・国道 16 号と国道 357 号を塩田町で繋ぐことにより多重性、代替性が確保されるとともに、近接する広域防災拠点である蘇我スポーツ公園に係る災害時における救援、復旧、復興活動での活用も期待されることから、さらに高い事業効果が見込まれる。</p> <p>一方、厳しい財政状況を背景に進捗率の伸びが少ないが、上記の様々な事業効果が期待でき、また土地所有者等の理解も概ね得られている状況であることから、事業費削減の工夫も図りつつ、本事業の早期完了を目指していただきたい。</p>			